

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館 発行日*令和4年4月1日

春の日差しが心地よい季節になりました。新年度を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。図書館では、今年度もいろいろな行事を予定しております。順次、お知らせしていきますので、ぜひチェックしてみてください。

早速、4月には児童行事『ぬいぐるみとしょかんおとまり会』を予定しております。こちらは事前申込が必要ですので、カウンターかお電話にてお申し込みください。皆さまのご参加をお待ちしております。

4月図書館情報

本館

○児童 『ぬいぐるみとしょかんおとまり会』

日時：4月16日(土)14:00～15:00

4月17日(日)11:00～12:00

場所：四万十市立図書館 多目的ホール

対象：3歳～小学4年生

※未就学児は保護者同伴

定員：8名

※両日参加可能な方

申込：事前申込制

※状況により中止や変更になる可能性があります。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
花	花	花	花	花	花	花

→休館日

一般展示

「意外な関係の作家たち family 編」
家族関係にある作家をテーマに太宰治家、
芥川龍之介家など計9家族の
作家の本を集めています。

場所：一般展示コーナー

郷土展示

「四国の鎌倉時代」

NHK で放映中の「鎌倉殿の13人」にちなみ
鎌倉時代前後の四国地方の様子が掲載された
資料を集めています。

場所：一般郷土展示コーナー

児童展示

「わたしたちとSDGs」
持続可能な開発目標“SDGs”に
ついての本を集めています。

場所：児童展示コーナー

一般・児童合同企画展示

「科学道100冊」

科学の魅力を多様な視点から伝える
“科学道100冊”で選書された本を
集めています。

場所：特集展示コーナー



新着本紹介



小説	『春のこわいもの』 川上 未映子
『維新の終曲』 岡田 秀文	『弊社は買収されました!』 額賀 漣
『風の港』 村山 早紀	『包帯クラブ』 天童 荒太
『眼球達磨式』 澤 大知	『糞と仔犬 青いお城』 遠藤 周作
『刑事弁護士』 薬丸 岳	『無月の譜』 松浦 寿輝
『コスメの王様』 高殿 円	『無明』 今野 敏
『午前0時の身代金』 京橋 史織	『幸村を討て』 今村 翔吾
『コンクールシェフ!』 五十嵐 貴久	『喜べ、幸いなる魂よ』 佐藤 亜紀
『漆花ひとつ』 澤田 瞳子	『ロング・アフタヌーン』 葉真中 顕
『朱色の化身』 塩田 武士	エッセイ
『人面島』 中山 七里	『月曜日は水玉の犬』 恩田 陸
『趙雲伝』 塚本 青史	『センス・オブ・何だあ?』 三宮 麻由子
『燕は戻ってこない』 桐野 夏生	文学
『図書室のはこぶね』 名取 佐和子	『寂聴さん最後の手紙』 瀬戸内 寂聴 他
『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』 大前 粟生	外国小説
『母子草の記憶』 小杉 健治	『アーチャー若気の至り』 P.G.ウッドハウス

読書	自然科学
『レインボーブックガイド』 草谷 桂子	『生物はなぜ死ぬのか』 小林 武彦
哲学・心理	医学
『裏切り者は顔に出る』 清水 建二	『1分で目がよみがえる今野式眼筋ほぐし』 今野 清志
『洗脳大全』 ジョエル・ディムズディール	『ウルトラ図解てんかん』 赤松 直樹
『「利他」とは何か』 伊藤 亜紗 他	『脳はバカ、腸はかしこい』 藤田 紘一郎
歴史	建築
『大正ガールズコレクション』 石川 桂子	『日常の絶景』 八馬 智
『東アジアと日本』 吉村 武彦 他	芸術・芸能
人間関係	『妄想美術館』 原田 マハ 他
『人は話し方が9割』 永松 茂久	『老後とピアノ』 稲垣 えみ子
社会	郷土
『大人のいじめ』 坂倉 昇平	『人生相談を哲学する』 森岡 正博
『鼎談なぜ子どもたちは生きづらいのか』 天童 荒太 他	『世界を震撼させた日本人』 門田 隆将 他
『まとまらない言葉を生きる』 荒井 裕樹	『パラレル・フィクショナル』 西澤 保彦

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(1週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夜間・土日祝日駐車レーンを確保しました (守衛棟北側縦列駐車3台分)